

朝霞市無電柱化推進計画（素案）に関する パブリック・コメント（意見募集）結果

令和2年11月
朝霞市

パブリック・コメント（意見募集）結果概要

1 目的	朝霞市無電柱化推進計画の策定にあたり、市民の皆様からご意見を募集するため。
2 募集期間	令和2年8月11日（火曜日）から令和2年9月10日（木曜日）まで
3 意見提出の対象者	・市内に在住・在勤・在学されている方 ・市内に事務所・事業所を有する個人及び法人 ・この案件について利害関係を有する方
4 公表した資料	朝霞市無電柱化推進計画（素案）
5 意見提出者数及び意見数	3名（メール3通）、10件

※ パブリックコメント結果の整理の都合上、意見を一部要約させていただいております。

朝霞市無電柱化推進計画（素案）に関するパブリック・コメントの結果

No	区分	ページ	意見の内容	市の考え（案）	修正の有無（案）
1	1 無電柱化の推進に関する基本的な方針	4	「朝霞市無電柱化推進計画」の〈はじめに〉の計画の趣旨はもつともだと思います。 しかし多額の費用が必要と思います。朝霞市は上下水道のインフラなどが更新時期にきており多額の費用が必要となり、今回の朝霞市無電柱化推進計画との整合性は、どのようなものでしょか。	上下水道などの更新につきましては、関係機関と調整を図りながら、所管部署等において計画的に整備を進めているところでございます。 なお、面整備事業の道路事業や市街地開発事業その他これらに類する事業が実施される際に、電線管理者と無電柱化に向けた協議を行いたいと考えています。	無
2	5 無電柱化の推進に関し総合的かつ計画的に講ずべき施策	3	市民と行政が意見交換を重ねてよりよい朝霞市無電化推進計画が実行されることを期待します。 どのようなかたちで市民と意見交換をするのかその計画を知りたいです。	具体的な無電柱化事業実施箇所においては、事業手法の選択、地上機器の設置場所等に関して、地域の合意形成を円滑化するため、地元関係者、電線管理者、警察等で組織する協議会等の設置を予定しています。	無
3	1 無電柱化の推進に関する基本的な方針	3	2015年の景観計画策定の中で電線類がステキな街路樹形成を阻害していることや基地跡地へのシンボルロード整備に伴ない、電線地中化の要望が市民から出されていたが見送られてきた。 それらの要望等も踏まえ、無電柱化推進計画が策定されることを高く評価します。早期実現を目指していきましょう。	「無電柱化の推進は、地域住民の意向を踏まえつつ、地域住民が誇りと愛情を持つことのできる地域社会の形成に資するよう行わなければならない。（無電柱化法第2条）」の理念の下、市民と関係者の理解、協力を得て、無電柱化により本市の魅力あふれる美しいまちなみを取り戻し、安全・安心な暮らしを確保し、本市の将来像である「私が 暮らしつづきたいまち 朝霞」の実現のため無電柱化を推進してまいりたいと考えています。	無
4	1 無電柱化の推進に関する基本的な方針	3	パブコメに向けて市民に対する説明会が予定されていなかったため、所管課と相談した結果、過去にも事例がある市民団体の要請により、市民団体が主催する学習会に講師を派遣する方法で開催することを快く即決してくれた。 大変前向きな処置に感謝申し上げます。無電柱化事業は市民との協働が大切です。 今後とも市民との協働した取り組みをお願いします。		

朝霞市無電柱化推進計画（素案）に関するパブリック・コメントの結果

No	区分	ページ	意見の内容	市の考え（案）	修正の有無（案）
5	1 無電柱化の推進に関する基本的な方針	4	今後、朝霞市街地等に新設される道路(国道・県道・市道含む)については、計画的に無電柱化を図るよう朝霞市がリーダーシップをとって進めてください。 さらに市で将来整備計画のある市道については、どの区間を無電柱化対象にするのかを検討し、道路整備に合わせ無電柱化推進を図るよう対処してください。	市が管理しない国道及び県道については、当該道路管理者に無電柱化を推進するよう要請してまいりたいと考えています。 また、面整備事業の道路事業や市街地開発事業その他これらに類する事業が実施される際に、電線管理者と無電柱化に向けた協議を行いたいと考えています。	無
6	全体	6 11	無電柱化推進計画の期間について ①本計画の期間が2020年(R2)～2028年(R10)までの8年間とされているが、この期間に実施する業務について明らかにされたい。 ②計画の期間とは、あくまで計画を策定する期間であり、実施まで含まないということか。 ③計画は無電柱化対象道路すべてを対象に策定するのか。優先順位付けを行い、優先順位の高い道路から策定するのか。	①重要物流道路を代替・補完する道路として国土交通省の指定を受けた、県道新座和光線から朝霞市役所までの区間を最優先道路と位置づけ無電柱化の実現に向けた整備方法等の検討を行いたいと考えています。 ②本計画の無電柱化整備予定路線に接続する国県道の無電柱化整備状況など、社会情勢や財政状況等を踏まえながら事業を進めてまいりたいと考えています。 なお、整備方法や整備箇所の検討を行うとともに、新設電柱の占用を制限する措置についても検討を行いたいと考えています。 ③優先順位の高い道路から整備方法等の検討してまいりたいと考えています。	無
7	全体	—	無電柱化の推進に関する目標 ①県道新座和光線から朝霞市役所までの区間を最優先道路と位置づけているが、朝霞市役所から朝霞駅南口までの区間も最優先区間に含めるべきである ②市道候補として2号線(城山通り)、7号線(観音通線)、8号線(公園通り)が挙げられているが、優先区間等を定める必要がある。	①市が管理しない国道及び県道については、当該道路管理者に無電柱化を推進するよう要請してまいりたいと考えています。 ②ご意見を踏まえ、優先区間等を定めることも含めて整備方法や整備箇所等を今後検討してまいりたいと考えています。	無

朝霞市無電柱化推進計画（素案）に関するパブリック・コメントの結果

No	区分	ページ	意見の内容	市の考え（案）	修正の有無（案）
8	全体	—	(1)無電柱化事業の実施 ①計画が決定され、地元や地権者、利害関係者などの理解を取り付け、工事着手までは長い期間を要するが、代表的な方式を例に標準的な行程表を示してほしい。 ②実施計画は候補に挙がっている市道について、優先順位を設け、計画的に進め、早期実現を図るよう取り組むこと。 ③無電柱化対象道路ごとの完成予想年度を示してください。 ④電線共同溝方式は一般に歩道幅が2～3m必要とされる。朝霞市内には該当する歩道は少ない。特に市道8号線のケヤキ並木区間は大木に育ったケヤキの根が掘削作業を妨げる。既設工法、技術等にとらわれることなく、新工法等を大胆に取り入れることを考えてください。	①工事着手までの標準的な工程表につきましては、本市での具体的な事例がないため、今後設置を予定している地元関係者、電線管理者、警察等で組織する協議会等の中で検討してまいりたいと考えています。 ②ご意見のとおり、最優先道路と位置づけた路線から無電柱化の実現に向けた整備方法等の検討を行いたいと考えています。 また、本計画の無電柱化整備予定路線に接続する国県道の無電柱化整備状況など、社会情勢や財政状況等を踏まえながら事業を進めてまいりたいと考えています。 ③現時点では完成予想年度をお示しすることは困難であるため、今後検討を進めていく中で適宜お示ししてまいりたいと考えています。 ④ご意見を参考に、新工法を取り入れるなど今後検討してまいりたいと考えております。	無
9	5 無電柱化の推進に関し総合的かつ計画的に講ずべき施策	11	(3)関係者間の連携強化 協議会等にはまちづくり市民団体、環境保全関係市民団体等も参加させること。無電柱化事業に市民参加は欠かせません。	無電柱化により本市の魅力あふれる美しいまちなみを取り戻し、安全・安心な暮らしを確保し、本市の将来像である「私が暮らしつづけたいまち 朝霞」の実現に向けて、ご意見を踏まえ、市民と関係者の理解が得られる協議会等を設置してまいりたいと考えています。	無
10	全体	—	道路の無電柱化は、防災の観点から重要です。 近年大型台風が日本に上陸し、強風で多数の電柱が倒れ、長期にわたり手伝を強いられるケースが出ています。大規模地震の際にもなおさらです。 景観まちづくりの観点からも、有効です。空という景観を取り戻すことができます。 開放感ある街に代えましょう。無電柱化された町並みは開放感があります。 ストレス社会において、必要性が高まっています。	「無電柱化の推進は、地域住民の意向を踏まえつつ、地域住民が誇りと愛情を持つことのできる地域社会の形成に資するよう行わなければならない。（無電柱化法第2条）」の理念の下、市民と関係者の理解、協力を得て、無電柱化により本市の魅力あふれる美しいまちなみを取り戻し、安全・安心な暮らしを確保し、本市の将来像である「私が暮らしつづけたいまち 朝霞」の実現のため無電柱化を推進してまいりたいと考えています。	無